

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成16年10月21日(2004.10.21)

【公表番号】特表2000-501352(P2000-501352A)

【公表日】平成12年2月8日(2000.2.8)

【出願番号】特願平9-517854

【国際特許分類第7版】

B 6 0 C 9/04

B 2 9 D 30/30

B 6 0 C 9/00

【F I】

B 6 0 C 9/04 A

B 2 9 D 30/30

B 6 0 C 9/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成15年11月5日(2003.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 15.11.-5 年 月 日 

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1.事件の表示 平成9年特許願第517854号

2.補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 ミシュラン ルシエルシュ エ テクニーク
ソシエテ アノニム

3.代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



4.補正命令の日付 自 発

5. (本補正により請求の範囲に記載された請求項の数は合計「2」
となりました。)

6.補正対象書類名 明細書

7.補正対象項目名 請求の範囲

8.補正の内容 別紙記載の通り



請求の範囲

1. 少なくとも1つの側壁と、少なくとも1つの、ラジアル系と呼ばれる実質的に半径方向の平行な系によって補強されているいわゆるラジアルプライを有するカーカス補強材とを有し、前記プライの2つの端部または隣接する要素を重ねることによって形成された少なくとも1つの重ね溶接部を有している、ラジアルタイヤであって、

前記側壁において、前記重ね溶接部の大体の向きがラジアル系の方向に対して斜めになっていることを特徴とするラジアルタイヤ。

2. ラジアル系の方向に直角に測定した斜めの重ね溶接部の寸法(1)が5ミリメートルより大きく、溶接角(α)が 5° から 20° までの間にあることを特徴とする、乗用車用またはバン用の請求項第1項に記載のタイヤ。